

平成29年 2月 1日

保護者の皆様

豊島区立西巢鴨小学校
校長 内藤 信之

1月の道徳授業地区公開講座・としま土曜公開授業アンケートから

1月21日(土)の「としま土曜公開授業、道徳授業地区公開講座」には、多数の方にご参観いただきました。ありがとうございます。アンケートは80枚(家庭数243、回収率32.9%)でした。当日は、全学級で道徳の授業を公開するとともに、3時間目に協議会と講演を行いました。本校の道徳教育の概要について森口美佳主幹教諭から説明し、警視庁巢鴨少年センター岡部享一先生から「気がかりな子供の心理と対応」という演題でご講演をいただきました。

アンケートでは、協議会、講演の内容についての回答は少なかったのですが、参加いただけただけの方からは、「とてもよかった」という回答をいただきました。

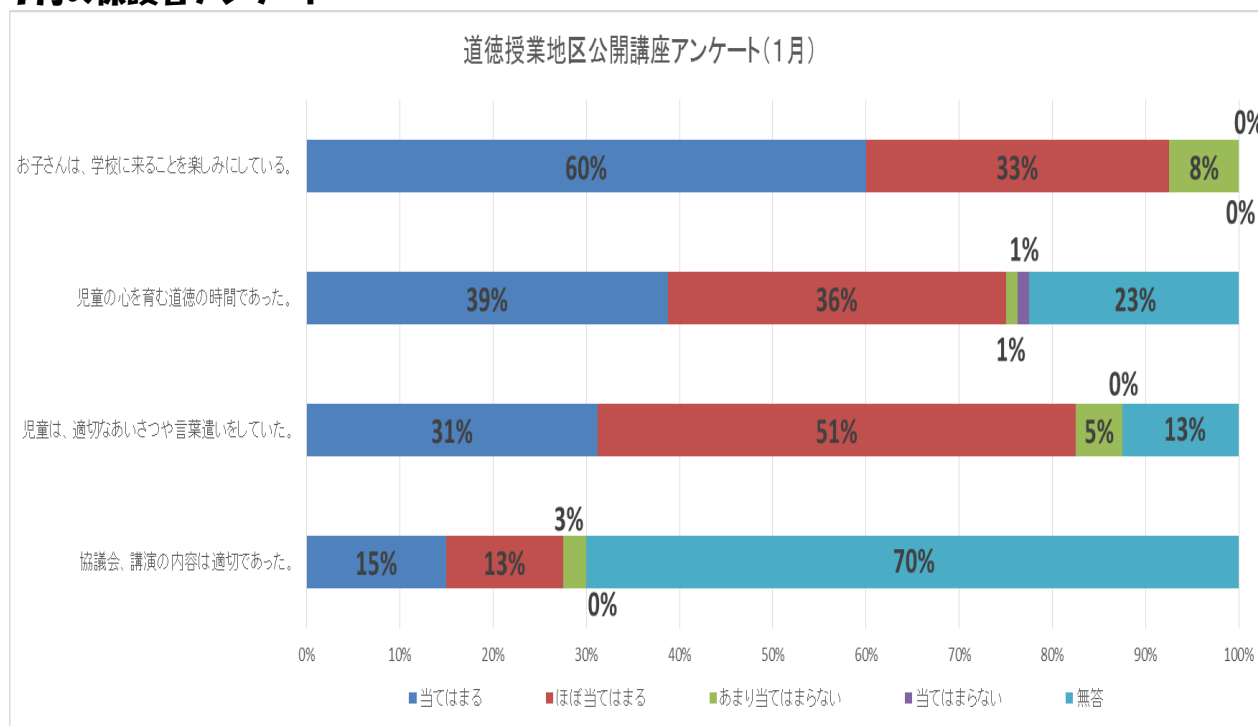
子供たちの豊かな心の育成は、学校、家庭、地域の連携が欠かせません。今後ともご協力をお願いします。

<保護者の皆様の感想、意見から>(抜粋)

- 道徳は、場面によって自分と相手の気持ちを考えさせる時間があるって分かりやすかった。自己中心的になりやすいときなので、自分も相手も「◎」な気持ちになることを考える力、思いやる心が、これからの道徳で育てばよいと思います。
- 道徳の授業は、テーマが「おもしろいやり」で1年生に適していると感じました。大小の動物たちを用いて、大変分かりやすかったです。道徳授業の重要性を改めて感じました。
- 授業と講座の3時間を通して、西巢小の道徳教育がよく分かりました。大変、有意義な時間をありがとうございます。
- 今後、道徳が「教科」になるとのこと。とてもよい流れだと思いました。
- 少年センターの方の講演は、お金を払ってでも聞きたいような、とてもためになる講演内容でした。多くの保護者の方に参加していただけるよう、何か工夫があってもよいと思います。
- 講演では、「規範意識が高い子供は、人を思いやる共感性をもっている。それには親との関係の中で、信頼を築くことが大切である。」というお話がありました。とても身近で分かりやすいお話で、とても良かったです。
- 講演会での講師の方のお話では、具体的にすぐに気を付けることのできるポイントや今の子供たちの実態を知ることができて、良かったです。
- 「ブラッドレーの請求書」は特に印象的でした。家族がどうあるべきか、子供たちに話を聞きました。「家族は、お金ではない。」という返事でした。とてもよい題材だと思います。
- 道徳の授業では、「ありがとう」と思ったことを発表し、日頃の学校生活、家庭での様子などが分かり、面白かったです。いつも楽しそうに学校に行っています。
- 道徳の授業で命の大切さを取り上げてくださったので、嬉しく思いました。自分の命だけでなく、他の人を大切にすることも指導してくださり、家庭でも子供に話す機会を作っていこうと思いました。
- 道徳の内容を家で子供と話し合いました。こういった授業で大切なことを少しずつ身に付けていてもらいたいと思います。

- 授業に集中して興味深く参加している子供たちが印象的でした。先生の声かけがすばらしく、スムーズで分かりやすい授業でした。
- 休み時間には寒くても子供たちだけでなく、先生も一緒になって外で動いていて、ありがたいと感じました。皆、楽しそうで好ましく思えました。
- 元気な声でしっかりとしたあいさつに心がほっこりしました。

1月の保護者アンケート



〈設問〉

- ①お子さんは、学校へ来ることを楽しみにしている。
- ②児童の心を育む道徳の時間であった。
- ③児童は、適切なあいさつや言葉遣いをしていた。
- ④協議会、講演の内容は適切であった。

設問①は、12月のアンケートより3%上昇し、93%の肯定的な回答をいただきました。今後も児童が学校へ来ることを楽しみにできるよう、教職員一同努力してまいります。

設問②、④は、参観、参加いただけなかった保護者の皆様から回答をいただけませんでした。しかし、道徳の授業を参観、協議会へ参加していただいた皆様からは、肯定的な回答をいただきました。

来月のとしま土曜公開授業は2月25日(土)に行います。「6年生を送る会」を実施いたします。今年度最後のとしま土曜公開授業になります。ご参加をお待ちしています。

